

チャの**赤焼病**に…

サンボルドー

(銅水和剤)

もち病・炭そ病にも有効です。



包装規格が
1kg入り
になりました。

サンボルドーの茶に対する登録内容

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用時期	使用回数	使用方法
茶	赤焼病 もち病 炭そ病	500倍	—	—	散布

注意 茶への散布は **摘採21日前** までに終えて下さい。

- サンボルドーはこの他に、きゅうり・なす・トマト・キャベツ・だいこん・ばれいしょ・てんさい・かんきつ・ぶどうに登録があります。
- 上記記載内容は平成16年7月現在の登録内容です。ご使用の際はラベルを熟読の上、ご確認下さい。

サンボルドーの有効成分は無機銅です。

新JAS法に適合しますので、有機農産物生産にも使えます。

人や環境に優しい剤です。

チャ赤焼病

発生の特徴

細菌（バクテリア）による病気。以前は幼木園中心の発生でしたが、最近は成木園での発生も増加しています。

赤焼病の病徴

- 初期：葉の中肋部付近に濃緑色・水浸状の斑点が見えて来る。
- 病斑の拡大：中肋に沿って拡大します。葉の裏では病斑の周囲が水浸状になっています。病斑は葉身・葉柄にも発生します。
- 落葉：ツボ状に現れ、周囲に拡がり、病葉は落葉します。
- 枝での発生：葉柄の基部から病気が拡大し、枝に発病し、枯れることがあります。

病原菌

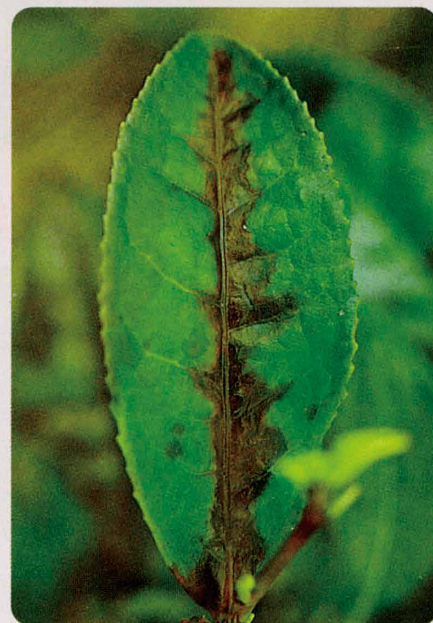
Pseudomonas syringae pv. *tea* という細菌によって起こる病気です。チャの病気のうちで、細菌で起こる病気は珍しいです。

発病条件

晩秋期と早春期に発生しますが、発生量は早春の方が多いです。また、秋の発生が多かった園では翌春の発生が多いので注意してください。この時期の強い風をとまなう雨は発病を多くします。また、寒害や霜害によって葉が傷つくと、そこから細菌が侵入し発病が助長されます。

発病しやすい品種

発病しやすい	するがわせ・ゆたかみどり・あさのか
	やえほ・おおいわせ・やまかい
	おくゆたか・はつもみじ
中程度	やぶきた・あさつゆ・やまとみどり
	くらさわ・おくむさし・さやまみどり
発病しにくい	さやまかおり・かなやみどり・おくみどり



赤焼病の被害葉

防除のねらい

毎年、発病する園では、一番茶の後に中刈りや深刈りによって、伝染源を少なくして下さい。
春先および秋口の強い風雨がいった後や整枝後に薬剤防除して下さい。
初期の病斑を発見したら、直ちに予防散布を心がけて下さい。
幼木園や自然仕立園では、強風で葉が傷つきやすく発病しやすいので、防風ネットを設置しましょう。